



とちぎ
2020

県政のあゆみ

1月

「いちご王国」の夕(ゆうべ)

1月

「いちご王国・栃木の日」を祝うイベントを開催

「いちご王国・栃木の日」の制定を宣言してから2周年となる1月15日に県庁でイベントを開催しました。「いちご王国」国王である福田知事参加の下、本県出身のシンガーソングライター横田悠二さん制作のテーマソングに乗せた「いちご王国」PR動画の発表や「光のいちご畑」点灯式、いちご尽くしの「いちご王国」マルシェなどが開催され、「いちご王国・栃木の日」を盛り上げました。



冬季大会の開催に向けカウントダウン！

1月

国体 冬季大会開催2年前イベント



1月26日、道の駅日光(日光街道ニコニコ本陣)を会場に、いちご会とちぎ国体冬季大会開催2年前イベントを開催しました。同会場の多目的ホールでは、福田知事や大嶋日光市長をはじめとした関係者によるカウントダウンボードの点灯式や、広報ボランティアによるいちご会ダンスの披露、市内の児童によるイメージソングの演奏などが行われました。また、多目的広場では、アイスホッケーの競技体験ブースを設置するなど、大会開催に向けた機運の醸成につなげました。

新型コロナウイルス感染症への対応

1月

栃木県新型コロナウイルス感染症対策本部の立ち上げ

1月31日、栃木県新型コロナウイルス感染症対策本部を立ち上げ、第1回対策本部会議を開催しました。会議では国内外の発生状況や本県の対応状況を確認したほか、今後の県の対応策などについて議論しました。

対策本部は、感染拡大の防止や医療体制の確保などを目的として設置され、県民の命と暮らしを守るため、福田知事を本部長に、市町や関係機関と協力しながら対応に努めています。



2月 - 3月

「うまいでっせ！とちぎ」

大阪において、栃木県産農産物展示試食会を開催

2月



関西圏における県産農産物の認知度向上や販路開拓を図るため、大阪のリーガロイヤルホテルにおいて、関西の市場関係者、料理人、メディア関係者等を対象に「うまいでっせ！とちぎ」と題し、栃木県産農産物展示試食会を開催しました。当日は、福田知事が栃木県の農業、県産品、観光情報に関するプレゼンテーションを実施したほか、参加者にはいちごやにら、かんぴょうなどの栃木県ならではの食材を使った料理や加工品を試食していただきました。

県内初の商用水素ステーション

とちぎ水素ステーションを整備

水素を燃料とする燃料電池自動車（FCV）は、二酸化炭素を排出せず、災害時の非常用電源ともなることから、県ではその普及を推進しています。

その推進施策の一環として創設した、県内に水素ステーションを整備する事業者への支援制度を活用し、3月16日栃木市に県内初となる商用水素ステーションが整備されました。

3月



県産農畜産物の消費拡大に向けて

新型コロナウイルス感染症で影響を受ける県産農畜産物への支援

新型コロナウイルス感染拡大に伴う各種イベントの中止や飲食店の時短営業などで、需要が減少する県産農畜産物の消費拡大と販路開拓に向け、各種事業を展開しました。

公共施設や企業等に県産花きを飾花し、花のある生活の魅力を伝えることで需要喚起を



図ったほか、県内スーパーでの県産農畜産物購入や飲食店でのメニュー注文で参加できる「とちぎのうんまいもんスマホスタンプラリー」の実施や、県産農畜産物を購入できるインターネットサイト「とちぎ Smile マルシェ」の開設などにより、県産農畜産物の消費拡大と農業者等の販路開拓を支援しました。

3月～

3月 - 4月

さらなる深化 とちぎの未来を創る 15 の戦略

「とちぎ創生 15(いちご)戦略(第2期)」を策定

県では、人口減少問題の克服と活力ある地域社会の維持を目指し、平成 27(2015)年から取り組んでいる第 1 期戦略に続き、第 2 期戦略を策定しました。「とちぎに魅力あるしごとをつくる」、「とちぎへの新しいひとの流れをつくる」、「とちぎで結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる」、「とちぎに安心して住み続けたい地域をつくる」の 4 つの基本目標と「未来技術をとちぎの新たな力にする」の横断的目標を定め、15 の戦略を展開します。

3月



県内外に安全で良質なとちぎの食肉を！

食肉処理・流通の拠点施設「とちぎ食肉センター」がオープン



4月1日、本県産牛肉および豚肉の流通の拠点施設として「とちぎ食肉センター」が開場しました。高度な衛生・品質管理の下、県内外への県産食肉の安定供給と本県畜産の生産振興に貢献します。また、米国やシンガポール、EU など、5 つの国・地域への牛肉の輸出が可能な施設として国から認定され、令和 2(2020)年 8 月のシンガポール向けを皮切りに、「とちぎ和牛」の輸出が順次進められています。今後、県産牛肉の国内流通はもとより、海外での販路開拓に大きく貢献することが期待されています。



4月

施設設備を改修し、より使いやすい施設に

栃木県総合文化センターリニューアルオープン

県内の文化芸術活動の中核拠点である栃木県総合文化センターの大規模改修工事が完了し、4月1日、リニューアルオープンしました。

今回の改修では、メインホールの天井耐震化等により安全性の向上を図ったほか、音響や照明等の舞台設備を一新するとともに、客席やトイレ等の利用設備の改善、障害者用乗降場や授乳スペースの新設等を行い、より快適に施設を利用できる環境を整えました。今後も多くの県民の皆さまにご利用いただき、親しまれる文化施設となることが期待されています。



4月

4月 - 5月

気候変動に関する情報を収集・発信

4月

「栃木県気候変動適応センター」を設置

近年、気温の上昇や大雨の頻度の増加など、気候変動による影響が全国各地で確認されています。今後さらなる拡大も懸念される中、県内での影響や適応策に関する情報基盤を強化するため、「栃木県気候変動適応センター」を設置しました。

国立環境研究所(国の気候変動適応センター)や県内大学等と連携しながら、県民や県内企業等に気候変動に関する情報を分かりやすく発信し、県全体での適応策を推進していきます。



デジタル化施策の総合的かつ効果的な推進に向けて

4月

栃木県 Society5.0 戦略本部の設置



経済発展と地域課題の解決を両立できる社会(Society5.0)を見据え、デジタル化施策の総合的かつ効果的な推進を図るため、4月22日に「栃木県 Society5.0 戦略本部」を設置しました。

市町や企業、団体等と連携・協働し、実証実験などを行いながら本県のデジタル化を推進していきます。

(写真は、なががわ水遊園におけるアバターロボットを活用した実証実験の様子)

国の緊急事態宣言対象区域の指定に伴う県の対応

4月～5月

栃木県緊急事態措置の決定

新型コロナウイルス感染拡大により、国が発出した緊急事態宣言の対象区域が全国に拡大されたことを受け、栃木県緊急事態措置を決定。新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、県民や県内事業者に対し、不要不急の外出やイベントの開催などの自粛、施設等の休止などを要請しました。県では、感染拡大を予防する「新しい生活様式」の徹底を呼び掛けるとともに、休業要請した県内事業者の状況を現地確認したほか、要請・協力依頼に応じた事業者に「新型コロナウイルス感染拡大防止協力金」を支給するなどの対応を行いました。

その後、各業界団体と連携した感染防止対策の徹底や、事業者の取り組みを見える化する「新型コロナ感染防止対策取組宣言」運動の展開や、感染防止対策に取り組みながら事業を継続していく中小企業等への支援策など、感染拡大防止と社会経済活動との両立に向けた取組にさらに力を入れています。



5月

八重咲きのあじさい2品種を開発

5月

あじさい新品種「エンジェルリング」・「プリンセスリング」を発表

農業試験場において、八重咲きのあじさい新品種「エンジェルリング」(左)および「プリンセスリング」(右)を開発しました。この2つの品種は、消費者に人気の高い赤紫色に白いリングのような縁取りが入るのが特徴です。



令和3(2021)年の春から販売が開始され、母の日などでの贈答用や観賞用鉢花として需要拡大が期待されています。

絨織物技術支援センターをリニューアル!

5月

絨織物技術支援センターオープニングセレモニーを開催



ユネスコ無形文化遺産・国の伝統的工芸品である結城紬の振興やさらなる発展に向け、機能の強化・拡充を図るための全面建替が完了し、5月25日にオープニングセレモニーを開催しました。

センターでは技術継承の拠点として、生産者からの技術相談をはじめ、共同作業場の提供、後継者育成のための各種研修などを行っています。また、より多くの方に結城紬の良さを知っていただくため、エントランスに展示コーナーを設置し、見学の受け入れも実施しています。



とちぎスポーツ医科学センターオープン!

5月

とちぎスポーツ医科学センター開所式

5月29日、とちぎスポーツ医科学センターにて、開所式を行いました。式典には、福田知事や群馬県議長をはじめ関係者が出席し、開所を祝してセンター看板の掲示や施設利用のデモンストレーションなどを行いました。



センターでは、専門職員が国体候補選手や一般競技者等のアスリートチェックや各種サポートを行います。令和4(2022)年の「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」を見据えた本県の競技力向上が期待されます。

7月

新たに創設する「いちご学科」を県内外に広くPR！

農業大学校「いちご学科」の生徒を募集

栃木県農業大学校では、企業的な経営感覚を持ち、次世代の「いちご王国・栃木」をけん引する「いちご経営者」の育成を目的として、令和3(2021)年4月に「いちご学科」を創設します。

令和2(2020)年7月に学生募集要項を発表し、意欲ある志望者を県内外から幅広く募集するため、JR 東京駅や秋葉原駅において、デジタルサイネージ広告によるPRを実施しました。また、9月・10月にはオンライン見学なども取り入れたオープンキャンパスを実施し、県内外より延べ43名が参加しました。



7月

県民総スポーツ推進拠点としての陸上競技場が誕生！

カンセキスタジアムとちぎ完成記念式典

7月23日、カンセキスタジアムとちぎにて完成記念式典を行いました。式典には福田知事や相馬県議会議長をはじめ、競技団体関係者など500人が出席し、完成を祝してテープカットなどを行いました。



このほか、ゲストラナーに那須塩原市出身で北京オリンピック長距離日本代表選手の洪井陽子さんをお迎えし、宇都宮市内の小学生とトラックの走り初めを行いました。また、式典後には内覧会を開催し、多くの方々にご来場いただきました。

7月

寄附者を銘板(大谷石)で顕彰

いちご一会募金銘板除幕式

いちご一会募金(寄附金)にご協力いただいた方々を顕彰するため、カンセキスタジアムとちぎに銘板(大谷石)を設置し、7月23日の同スタジアムの完成記念式典に併せ、除幕式を開催しました。

いちご一会募金(寄附金)は、いちご一会とちぎ団体・とちぎ大会に係る県民運動や環境美化などの大会運営経費について広くご協力いただくことを目的として、平成31(2019)年4月1日から募集を開始しました。この募金は、両大会が開催される令和4(2022)年10月31日まで募集します。



7月

7月 - 8月

いちご新品種の名称を決定

7月

いちご「栃木 i37 号」の名称を「とちあいか」に決定

令和元(2019)年10月28日から令和2(2020)年3月15日まで実施した名称投票キャンペーンの結果から、名称を「とちあいか」に決定しました。この名称には、「県内の生産者・消費者はもとより、全国の皆さんに愛されるとちぎの果実になってもらいたい」という願いが込められています。

キャンペーンでは「とちあいか」を含めた6つの候補の中から、実際にこのいちごを食した方が投票したもので、「とちあいか」は総投票数8,780票のうち2,782票を獲得し、1位になりました。



栃木からプラごみゼロを目指して

7月

「栃木県プラスチック資源循環推進協議会」の設立



7月31日、栃木県プラスチック資源循環推進条例(令和2年栃木県条例第2号)第14条の規定に基づく「栃木県プラスチック資源循環推進協議会」を設立し、第1回会議を開催しました。この協議会は、県がプラスチックごみの適正処理・有効活用促進による資源循環の推進に関する取組を円滑かつ効果的に実施するために協議することを目的としています。

協議会の設立を契機として、関係者間の最新情報の共有や意見交換を進め、“栃木からの森里川湖(もりさとかわうみ)プラごみゼロ”の実現を目指していきます。

環境に配慮した大会開催を目指して

8月

「環境に配慮した いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」推進宣言

8月6日に開催したいちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会第2回常任委員会において、環境に配慮した両大会の開催を目指す推進宣言を行いました。

この宣言をキックオフとして、市町や県内企業、関係団体と連携し、環境に配慮した両大会の開催に取り組んでいきます。



8月 - 9月

生産量日本一の功績を記念して

8月

いちご生産量日本一 50年記念式典を開催

いちご生産量 50年連続日本一を記念した式典が県庁昭和館前で開催され、全国農業協同組合連合会栃木県本部および栃木いちご消費宣伝事業委員会から顕彰碑(石碑)が寄贈されました。



顕彰碑は、生産量日本“1”を表現するデザインとなっており、「今後も目標に向かって努力し続ける」という思いを後世に永く伝えるため、「万里一空(ぼんりいっくう)」という字が刻まれています。また、いちご生産量 50年連続日本一の功績に大きく貢献した、「女峰」「とちおとめ」の品種開発の歴史なども刻まれています。

オンラインでの新たな友好交流！

9月

米国インディアナ州と「オンラインよさこいフェスティバル」を開催



本県の友好交流先である米国インディアナ州とオンラインで「よさこいフェスティバル」を開催しました。

本県側の会場である県庁では、鹿沼市を拠点に県内外で活躍するよさこいチーム「勢や(せいや)」が躍動感のある演舞を披露したほか、オンラインでつながったインディアナ州の住民など約 200 名に踊り方を教え、フェスティバル最後には県とインディアナ州が一体となってよさこいを踊りました。

コロナ禍により海外との交流が難しい中、遠く海を越えたインディアナ州との絆がさらに深まる機会となりました。

水力発電事業の魅力を発信！

9月

発電所カードの配布を開始

企業局では、電気事業の PR と地域資源を活用したクリーンなエネルギーである水力発電の啓発およびインフラ施設を活用した地域振興を目的とした「発電所カード」を作成し、9月19日から発電所近くのダム管理所や道の駅等で配布を開始しました。カードには、発電所の写真や所在地、発電方式、出力などを記載しているほか、2次元バーコードにより詳細なデータを確認することができます。令和2(2020)年12月末までの配布枚数は、当初の想定を上回る合計約12,000枚となりました。



9月 - 10月

ハンガリーとの友好交流のシンボルに

ワグナー・ナンドール氏制作「母子像」を設置

東京 2020 オリンピックにおいて、本県がホストタウンとなったハンガリーとの友好交流のシンボルとして、ハンガリー出身の彫刻家ワグナー・ナンドール氏が制作した「母子像」を県総合運動公園に設置しました。

「母子像」は、ワグナー・ナンドール氏が益子町にアトリエを構えて間もなく制作した作品で、昭和 47(1972)年に開館した県立美術館の記念すべき第 1 号の収蔵品です。県総合運動公園は東京 2020 オリンピック開催時に、ハンガリー陸上競技選手団が事前キャンプで使用する予定でもあり、県内外から訪れる多くの方々にご覧いただくことで、ハンガリーに対する理解や友好交流が一層深まることが期待されます。



9月

国体・障スポをダンスで盛り上げたい！

いちご一会ダンスキャラバン隊活動開始



いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の開催を広く PR するため、いちご一会ダンスキャラバン隊が始動しました。キャラバン隊は、今年 4 月に結成。新型コロナウイルス感染症の影響により活動できない日々が続きましたが、一人でも多くの県民の皆さまに両大会の開催を知っていただくため、県内の小学校や幼稚園、保育園などを訪問し、とちまるくんと一緒に「いちご一会ダンス」で盛り上げていきます。

10月

「にっこり栃木プレミアム」が販売開始

「栃木プレミアム」農産物生産者団体等認証制度の創設

県産農産物のブランド価値向上のため、品種の持つおいしさや大きさなどの特長を最大限に引き出した商品を生産・販売できる団体等を認証し、その商品を「栃木プレミアム」として流通させる制度を創設しました。

第 1 弾として、首都圏の百貨店において、高い糖度と大きさ、美しい形を兼ね備えた「にっこり 栃木プレミアム」の販売が開始されました。



10月

11月

奥日光を彩る幻想的な光

11月

「ライトアップ奥日光」を実施

奥日光地域の閑散期誘客策の一環として、「ライトアップ奥日光」イベントを開催しました。昨年、試験的にライトアップが行われた華厳ノ滝に加え、県有の英国大使館別荘記念公園やイタリア大使館別荘記念公園、湖畔園地などでもライトアップやイルミネーションでの光の演出が行われ、10日間のイベント期間中、約15,000名の観光客が訪れ、奥日光の新たな魅力を楽しみました。



なお、このライトアップの費用の一部はクラウドファンディングにより調達を行い、262の個人・企業等から出資をいただきました。

県の技能レベルの高さを全国にアピール！

11月

技能五輪・アビリンピックに本県選手団が出場



11月13日から16日(アビリンピックは15日)にかけて愛知県で行われた、「第58回技能五輪全国大会」および「第40回全国アビリンピック」に本県選手団が出場し、技能五輪では金賞1名をはじめ16人が入賞し、4年連続で団体賞を受賞しました。また、アビリンピックでは4名の選手が入賞するなど、本県のものづくりやサービスの技能レベルの高さを全国にアピールすることができました。

文化振興の貢献をたたえて

11月

栃木県文化功労者表彰式

県の文化振興に著しく貢献された方を、栃木県文化功労者として表彰しており、令和2年度は上野憲示氏(左)と重原道雄(聖鳥)氏(右)が選ばれました。

上野氏は、長年にわたり日本美術の研究・普及活動に力を注がれ、美術評論において大きな功績を残されるとともに、地域の芸術文化の振興にも大きく寄与されております。また、重原氏は、高等学校における書道の普及・発展、さらには県芸術祭の振興に尽力されるなど、書道界のけん引役として貢献いただいています。



11月11日に表彰式が行われ、第1回表彰(昭和24(1949)年)からの受章者は、合計150人(学術40人、芸術79人、その他31人)になりました。

12月

スマート林業の推進を目指して

12月

「とちぎスマート林業推進協議会」を設立

本県の林業・木材産業の成長産業化の実現に向け、未来技術を活用したスマート林業を推進するため、12月7日に国・大学・林業関係団体・行政等で構成する「とちぎスマート林業推進協議会」を設立しました。

これを契機に、関係者一丸となって本県におけるスマート林業の実装・普及拡大に取り組んでいきます。



世界に誇れる「とちぎの宝」を展示

12月

陶壁(とうへき)「とちぎの宝—華巖の滝—」を展示



とちぎ版文化プログラムの一環として実施した、本県を代表する芸術家・林香君(はやしかく)氏の監修による陶芸ワークショップにおいて、「とちぎの宝」をテーマに制作された陶壁を県庁本館1階「県政展示コーナー」に展示しました。

このプログラムは、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として本県文化の魅力を国内外に発信するとともに、令和4(2022)年に開催されるいちご一会とちぎ国体・とちぎ大会に向けてレガシーを継承することを目的としています。

ワークショップには小中学生を含む16名が参加し、世界に誇れるとちぎの宝として「華巖の滝」をモチーフに選び、参加者同士でアイデアを出しながら、縦2.00メートル×横2.75メートルの大作を作り上げました。

48年間の料金徴収が終了

12月

日塩有料道路を無料開放

日塩有料道路(もみじライン・龍王峡ライン)は、日光市の鬼怒川温泉エリアと那須塩原市の塩原温泉エリアを結ぶ、標高1,000mを超える高原道路です。観光需要の広域化により整備を進め、昭和47(1972)年にもみじラインが、平成14(2002)年に龍王峡ラインが有料道路として開通しました。開通時から管理は栃木県道路公社が行っていましたが、令和2(2020)年12月10日に料金徴収期間が満了となることから、無料開放するとともに、その管理を県が引き継ぎました。なお、無料開放後の名称は主要地方道藤原塩原線となります。



カーボンニュートラルの実現を目指して

12月

2050年カーボンニュートラル実現を目指すことを宣言

12月14日の栃木県議会本会議において、知事は「2050年のカーボンニュートラル」の実現を目指すことを宣言しました。この高い目標を達成するため、まずは「カーボンニュートラル」実現に向けたロードマップを策定するとともに、県民と共有し、オールとちぎでチャレンジしていきます。



世界に認められた伝統技術

12月

本県の「建造物彩色」と「建造物漆塗」がユネスコ無形文化遺産に登録



ユネスコ無形文化遺産保護条約第15回政府間委員会において、「伝統建築工匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術」のユネスコ無形文化遺産代表一覧表への登録が決議されました。

本件を構成する国の選定保存技術17件のうち

「建造物彩色」および「建造物漆塗」は、本県に所在する(公財)日光社寺文化財保存会が保存する技術です。

今回の登録により、栃木県に関するユネスコ無形文化遺産代表一覧表の登録件数は3件となりました。



功績をたたえて

12月

栃木県スポーツ功労賞授与式

10月にテニスの全仏オープン車いすの部女子シングルスで準優勝の成績を収めた、大谷桃子選手に対し、広く県民に希望と活力を与えてくれた功績と榮譽をたたえ、栃木県スポーツ功労賞を授与しました。

大谷選手の今後の活躍に期待します。



とちぎ 県政の あゆみ 2020

月	日	できごと
1月	9	栃木県農業士・女性農業士・名誉農業士認定式
	15	「いちご王国・栃木の日」いちご王国の夕(ゆうべ)
	23	令和2年度栃木のいちごトップセールス
	23	「いちご王国・栃木」フェア in 日本橋三越本店(28日まで)
	26	いちご一会とちぎ国体冬季大会開催 2年前イベント
	27	栃木県文化振興大会
	29	「いちご王国・栃木」フェア in 阪神百貨店梅田本店(2月6日まで)
	31	「栃木県新型コロナウイルス対策本部」の設置
	2月	4
5		「いちご王国」情報発信拠点「とちぎのいちごや」の設置(18日まで)
7		「うまいでっせ!とちぎ」～栃木県農産物展示試食会 in 大阪～
12		第1回栃木県農業大賞表彰式
26		とちぎのいいもの商談会 in 大阪(27日まで)
3月	16	「とちぎ水素ステーション」開所式
	26	「とちぎ創生15戦略(第2期)」策定
4月	1	「とちぎ食肉センター」開場
	1	「栃木県総合文化センター」リニューアルオープン

4月	1	「栃木県気候変動適応センター」設置	
	1	「全国障害者スポーツ大会課」新設	
	6	春の交通安全県民総ぐるみ運動(15日まで)	
	15	コロナに負けるな!とちぎ観光いちご園連絡協議会県庁いちご即売会(28日、5月1日、13日にも実施)	
	17	栃木県緊急事態措置の決定	
5月	22	「栃木県 Society5.0 戦略本部」の設置	
	20	あじさい新品種「エンジェルリング」・「プリンセスリング」の発表	
	22	第74回栃木県芸術祭(11月10日まで)	
	25	「絨織物技術支援センター」オープニングセレモニー	
29	「とちぎスポーツ医科学センター」開所式		
6月	1	公共施設等における花きの活用拡大支援(3月31日まで)	
	11	廃棄物運搬車両調査(10月9日にも実施)	
	15	令和2年度県民の日ミニセレモニー	
7月	17	とちぎ食肉センター 米国向け牛肉輸出施設認定	
	2	農業大学校「いちご学科」新設の発表	
	2	第1回栃木県酪農担い手確保推進協議会	
	2	不法投棄防止スカイパトロール(10月15日にも実施)	
	20	栃木県フロンティア企業認証式	
	23	カンセキスタジアムとちぎ完成記念式典開催	
	23	いちご一会募金銘板除幕式	
	28	いちご「栃木 i37号」の名称決定	
	30	栃木の農産物ブランド価値向上推進会議	
	31	いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会公式ポスター等のデザイン募集開始	
	31	「栃木県プラスチック資源環境推進協議会」設立	
	8月	4	令和2年度園芸大国とちぎづくり推進会議
		6	「環境に配慮した いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」推進宣言
		21	いちご生産量日本一 50年記念式典
	26	とちぎ食肉センター EU 向け牛肉輸出施設認定	

8月	31	とちぎ食肉センター とちぎ和牛初輸出セレモニー
	6	農業大学校いちご学科第1回オープンキャンパス(オンライン開催)
9月	12	栃木県—インディアナ州オンラインよさこいフェスティバル
	18	秋の交通安全県民総ぐるみ運動「交通安全の灯」点灯式
	19	第43回栃木県少年の主張発表県大会
	19	発電所カードの配布開始
	21	秋の交通安全県民総ぐるみ運動(30日まで)
	22	ワグナー・ナンドール氏制作「母子像」記念設置セレモニー
	30	とちぎ食肉センター タイ向け牛肉輸出施設認定
	1	いちご会とちぎ国体・とちぎ大会運営ボランティア・情報支援スタッフの募集開始
10月	1	いちご会ダンスキャラバン隊の活動開始
	1	いちご会運動オールとちぎプロジェクトの参加者募集開始
	4	農業大学校いちご学科第2回オープンキャンパス
	13	「にっこり栃木プレミアム」出荷開始
	17	あつまれ!とちぎ木育の森 2020(18日まで)
	19	令和2年度「いちご王国」プロモーション推進委員会
	20	県営土地改良事業の換地業務に係る知事感謝状贈呈式
	22	「美味しいお米活用術」とちぎの星PRオンラインイベント
	24	とちぎものづくりフェスティバル 2020
	26	とちぎ食肉センター ベトナム向け牛肉輸出施設認定
	27	第33回きのこ料理コンクール
	30	いちご会募金グッズの販売開始
	30	栃木県優良デザイン商品選定証交付式およびとちぎデザイン大賞表彰式
	30	農業試験場ニュース特別号(No. 400)発行
	31	とちぎのにっこりプロモーション in ラゾーナ川崎(11月1日まで)
11月	2	とちぎ秋の味覚フェア(15日まで)
	5	とちぎ協働推進大会 2020

11月	8	とちぎ農産物オンラインクッキング教室 in シンガポール	
	10	栃木県文化功労賞表彰式	
	12	とちぎ女性活躍応援フォーラム 2020	
	13	第40回全国アビリンピック(愛知県)(15日まで)	
	13	第58回技能五輪全国大会(愛知県)(16日まで)	
	14	ライトアップ奥日光の実施(23日まで)	
	14	第13回子どもたちの木工工作コンクール	
	15	栃木県知事選挙	
	17	第12回栃木県交通・生活安全安心県民大会	
	17	栃木県伝統工芸士認定式	
	18	令和2年度健康長寿とちぎづくり表彰式	
	19	とちぎ農産物イメージアップ研修会「ミシュランシェフ直伝!食材活用術」	
	19	令和2年度園芸大国とちぎづくり推進大会	
	21	令和2年度心豊かな青少年を育む県民のつどい	
	21	フェスタ in パルティ 2020	
	26	とちぎ農産物オンラインクッキング教室 in マレーシア	
	26	令和2年度栃木県きのこ・わさび展示品評会(27日まで)	
	12月	2	とちぎのいいもの商談会(3日まで)
		7	「とちぎスマート林業推進協議会」の設立
8		陶壁「とちぎの宝—華厳の滝—」展示セレモニー	
9		令和2年度「ジュニア知事さん」表彰式	
11		栃木県芸術祭表彰式	
11		日塩有料道路の無料開放	
11		年末の交通安全県民総ぐるみ運動(31日まで)	
12		とちぎのおにぎりスター誕生「第3回おにぎりコンテスト」	
12		とちぎ食育・地産地消に関する表彰式および感謝状贈呈式	
14		2050年カーボンニュートラル実現を目指すことを宣言	
17		「伝統建築工匠の技:木造建造物を受け継ぐための伝統技術」ユネスコ無形文化遺産に登録	
25	栃木県スポーツ功労賞授与式		



とちぎ県政のあゆみ 2020

令和3年3月31日発行

編集・発行／栃木県県民生活部広報課

〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田 1-1-20

☎ 028-623-2192 FAX 028-623-2160